

倉橋農業青年クラブが労務改善研修会を開催

【平成 29 年 8 月 28 日掲載】

平成 29 年 8 月 2 日に呉市倉橋町の倉橋農業青年クラブ（大須賀大（おおすがはじめ）部会長，会員数 15 名）が，ねぎ出荷調製作業の改善を目的とした労務改善研修会を開催し，クラブ員 12 名，関係機関 4 名が参加しました。

この研修会は，ねぎ栽培において最も作業時間が長い出荷調製作業について，身体の負担軽減や作業の効率化を図ることを目的とし，（有）ウド・エルゴ研究所の宇土博（うどひろし）氏を講師として，人間工学の視点から改善策を導き出す手法を学びました。

はじめに，宇土氏が「元気な職場や生活をデザインするワークデザイン～倉橋島のねぎの収穫・調製作業の改善～」と題して，腰や手にかかる負担を最小限にするための姿勢等の基本的な考え方について講演しました。

次に，4 名の出荷調製作業の画像をもとに，問題点の確認や具体的な改善策について提案を受けました。参加者からは，積極的な質問があり，活発な意見交換となりました。



【研修前に調製作業場を確認】



【具体的な改善策を提案する宇土氏】

今回の研修により，部会員全体で労務改善の重要性を確認できたため，調製台や椅子の改善並びに作業ラインの改善に取り組み始めた生産者もあり，作業の効率化が期待されます。